

第5段階：イエスはガリラヤ周辺の異邦人地域へ撤退する

C. イエスは弟子訓練によって撤退を終える

デイリー・ジーザス・ニュース #138

5. イエスの「真の王国の偉大さ」についての教え、第3部：介護

マタイ18.10-14。マルコ9.38-41

10「マタイ伝」これらの幼子たちを一人でも軽んじないように気をつけなさい。あなたがたに言いますが、彼らの天使たちは天にいますわたしの父の御顔をいつも見ています。

[注：最も信頼できる古代写本には、欽定訳聖書にあるマタイ伝18章11節は含まれていません。この節はマタイ伝の原文には含まれていないと考えられるため、この聖句はDKNには含めていません。]

12「どう思いますか。ある人が百匹の羊を所有していて、そのうちの一匹が迷い出たら、その人は九十九匹を山に残して、迷い出てしまった一匹を捜しに出かけないでしょうか。13 そしてもし彼がそれを見つければ、本当に私はあなたに言います、彼は迷わなかつた九十九匹の羊のことよりもその一匹の羊のことのほうが喜ぶのです。

14同じように、天の父は、これらの幼子たちが一人でも滅びることを望んでおられないのです。（マタイ18.10-14）

38マタイ 38:11ヨハネは言いました。「先生、あなたの名を使って悪霊を追い出している人がいるのを見ましたが、やめるように言いました。その人は私たちの仲間ではありませんでしたから。」

39「彼を止めないで」イエスは言いました。「私の名において奇跡を行う者は、次の瞬間には私について悪口を言うことはできない。40私たちに反対しない者は、私たちに賛成する者です。

41「よく言っておく。あなたがたがキリストに属する者だという理由で、わたしの名によって水一杯でも飲ませてくれる者は、決してその報いを受け損なうことはない。」（マルコ9章38-41節）

=====

注：私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します：マタイ =^{MT}、マーク=^M、ルカ=^L、ヨハネ=^J、使徒行伝=^A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書書を識別します。さらに、イエスの言葉は赤いイタリック体で書かれています。旧約聖書の引用は大文字で書かれています。

コンテキストダイジェスト

位置	カペナウム
タイムライン	9月（33月）
イエスの生涯の文脈	第5段階：イエスはガリラヤ周辺の異邦人地域へ撤退する

第5段階：イエスはガリラヤ周辺の異邦人地域へ撤退する

C. イエスは弟子訓練によって撤退を終える

	C.イエスは弟子訓練によって撤退を終える
タイトル	5. 「真の王国の偉大さ」第3部…介護者であること

コメント：

今日の朗読で、イエスは真の偉大さの描写に「世話をする」という特徴を加えました。イエスはこれまで、真の偉大さとは、子どものような、仕える者のような態度（18:1-6）であり、自らの罪を容赦なく償うことで他者に謙遜の模範を示し、それによって他者につまずき（「つまずき」）を与えることのない生き方（18:7-9）であると述べています。

今日の聖書箇所で、イエスは私たちが他の人々に与える影響を、模範を示すだけでなく、積極的な世話へと昇華させました。イエスは、まさに神を中心とした方法でこれをなさったのです。

イエスは、羊飼いが羊を世話する様子を、神の愛と羊飼いの姿として喻えられました。旧約聖書はこのイメージで満ち溢れしており、中でもダビデの詩篇23篇は「主は私の羊飼い…」という箇所で特に際立っています。イエスは間もなくご自身についてこう言われました。「私は良い羊飼いである。」

旧約聖書でも「羊飼い」というモチーフは、神に喜ばれる指導者の姿を描写するために用いられています。イエスは今日の聖書箇所で、この世話をするリーダーシップの側面について語されました。真に「偉大な」僕たちは、神が彼らを通して他の人々に優しい愛と世話を注いでくださることを受け入れます。

人々を「牧する」ということは、神にとってその人の比類なき価値を認め、尊重する態度から始まります。神は彼らのために命を捨てるほどに彼らを気遣っておられます。「わたしは良い羊飼いである。良い羊飼いは自分の羊のために命を捨てる。」ヨハネ10章11節。良い羊飼いは99匹を残して、迷える子羊一匹一匹を探し出し、救い出します。神にとって、一人ひとりはかけがえのない、唯一無二の、比類なき価値を持つのです。

弟子たちはまだイエスの死が自分たちへの至高の愛の表れであることを理解していませんでしたが、すぐに理解するようになりました。その日から、彼らは一人ひとりを「キリストが死なれた人」として見るようになりました。イエスがここで彼らに教えていたのはまさにこれです。神の目を通して他者を見るとき、私たちは彼らを支配する主人ではなく、神の世話をする者となるのです。

イエスは、他者をご自身の愛と配慮の対象として見るよう教えられました。ですから、神をそのしもべとして愛することは、神のために他者を愛することを意味します。神を愛しながら、同時に神の愛する者を軽視することはできません。ですから、イエスはさらに、真の偉大さとは、神への愛から他者を思いやり、気遣うことにあると教えられました。私たちが他者のために行うことは、実は神に対して行っていることなのです。「あなたがたが、これらのわたしの兄弟、その最も小さい者のひとりにしたのは、すなわち、わたしにしてくれたことなのである。」マタイ伝 25章40節

第5段階：イエスはガリラヤ周辺の異邦人地域へ撤退する

C. イエスは弟子訓練によって撤退を終える

さらに、思いやりは他の神の僕たちにも向けられるべきです。弟子たちが、イエスの名において奉仕する、イエスの名も知らぬ他の弟子たちに対して競争的な態度を示した時、イエスは彼らを叱責されました。神の国においては、神の子らは皆、同じ家族の一員として共に仕える者であり、一つのチームとして仕える者です。真の偉大さは、イエスのように、子供のような謙虚さをもって他の主の僕たちに思いやりを示すことがあります。結局のところ、イエスは私たちのような者のために天から身をかがめてくださったのです。

ケアギビングとは、神の前での各個人の価値に基づき、神がその人のために与えてくださる資源の中で、人々の必要を満たす実践です。ケアギビングは羊飼いの行いであり、偉大な奉仕者の真髄です。

応用：

マタイは、ガリラヤでの宣教活動の際、イエスが人々を「羊飼いのいない羊」のように見ていたと記しています。マタイ伝9章36節 イエスは常に神の優しく愛に満ちた世話を人々に与えていました。私たちもイエスに倣い、謙虚な僕として他の人々を世話しなければなりません。

あなたは今日、イエスのために、どのように周りの人々を気遣うことができますか？